

山田北 | Cフル化要望は

積極的に働きかける



菊地 光明 議員
(新 生 会)

問 山田北インターフル化については、再三再四質問してきたが、回答はいつも「期成同盟会等と連携して要望活動をしていく」である。今後どのような要望活動をしていくのか、詳しく示せ。

佐藤町長 要望活動については、山田町・宮古市合同で、2年10月に国土交通省三陸国道事務所、12月に東北地方整備局に対しフル化の要望を行った。また、三陸国道事務所及び宮古市との意見交換会を行い、フル化の必要性や諸課題について意見を交わすなど、事業化に向けた活動を強化している。期成同盟会としても、国土交通省をはじめ岩手県選出国会議員や、東北地方整備局などに対

一般質問

する要望活動を行っている。今後の要望活動についても、宮古市や関係機関、期成同盟会と連携しながら、積極的に国に対する働きかけを行ってきたい。

問 これまでの要望活動に対しては敬意を表す。これからの要望活動においては、町民全員が、豊間根地区の皆様にとつての生活圏も広域圏も宮古市であり、また、命を守る道であるとの共通認識をもってチーム山田とし

て取り組むべきと考えるがどうか。

佐藤建設課長 豊間根地区に立地する企業には宮古市から多くの方が通勤しており、命の道としても重要であると考えているので、積極的に要望活動に取り組んでいく。

意見 すばらしい回答である。我々も積極的に応援していくので、頑張ってください。



フル化が望まれる山田北インター

町職員の男女平等は

女性登用が少ない状況である

問 昨今女性軽視がいろいろと、取沙汰されているが、町職員の男女平等の考え方はどうなっているのか。

町長 本町の一般職の職員数は206人であり、うち、男性職員は133人で64・6割、女性職員は73人で35・4割の比率となっている。課長補佐以上の比率では、課長補佐15人中、女性職員は2人で13・3割、課長補佐職は31人中、女性職員は3

人で9・7割。2020年30との比較では、課長相当職20割、課長補佐相当職30割となっており、本町ではこれを下回る状況となっている。今後も、男女が平等にその能力を十分に発揮できるように、適正な任用に努める。

その他の質問

- ◆ 災害対応の意識は
- ◆ 防災行政無線運用基準は
- ◆ ワクチン接種方法は
- ◆ 高齢化率の解消方法は
- ◆ 福祉政策の考えは
- ◆ 市場経営状況は
- ◆ 公共施設の利活用検討は
- ◆ 幼・保再編の方向は

用語解説

「202030」とは？

社会のあらゆる分野において2020年までに指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30割程度になるよう期待するという国が定めた政策目標。